

定住人口増加を目指して

# 定住自立圏構想に基づく「中心市宣言」

自治体間連携の新たな取り組みである「定住自立圏構想」が国全体で進められています。それぞれの周辺地域で自治体同士が連携・協力することで必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進するものです。

八代市は、周辺地域の中心的な役割を担うため、定住自立圏構想に基づく「中心市宣言」を市議会9月定例会で行いました。



▲議場で宣言文を読み上げる中村市長（9/25）

## ◆定住自立圏構想とは

人口減少社会の到来や少子化・高齢化の進行、生産年齢人口の減少による社会背景を踏まえ、地方圏において安心して暮らせる地域を形成します。これにより、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフスタイルやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出するもので、全国的な見地から推進されている構想です。

## ◆定住自立圏構想の推進に必要な手続き

主に次の3つです。

1. 中心市宣言
2. 定住自立圏形成協定の締結
3. 定住自立圏共生ビジョンの策定

## ◆中心市宣言とは

中心市宣言は、定住自立圏を形成するにあたり、圏域全体のマネジメントなどにおいて中心的な役割を担う意思を示すものです。

## 定住自立圏のイメージ



出典：総務省 定住自立圏構想ホームページ

問合せ  
企画政策課  
☎ 33-4104

## ◆ 今後の取り組み

### 定住自立圏形成協定の締結

中心市と周辺町が1対1の関係で定住のために必要な生活機能を確保するため、役割を分担して行う連携事項について、個別に協定を締結します。

※中心市・周辺町のそれぞれの議会での議決を経て協定を締結します。



### 定住自立圏共生ビジョンの策定

定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組みを定めたビジョンを中心市が策定します。

※住民のご意見をいただきながらビジョンの策定を行います。

## 中心市宣言

我が国においては、本格的な人口減少・少子高齢社会が到来し、生産年齢人口の減少による経済の停滞とともに、中山間地域においては耕作放棄地の増加など、生活基盤の弱体化やコミュニティの脆弱化が生じるなど、これまで経験のない社会構造、地域情勢への大きな変革が見込まれています。

人口減少社会の到来に対応し、持続可能な地域社会を構築していくためには、広域的な連携のもとに地方圏として安心して暮らせる地域を形成し、都市圏への人口流出を抑制するとともに、都市圏から地方圏への人の流れを創出していくことが求められています。

本市は、東は宮崎県に境を接し、西は八代海を隔てて天草諸島を望み、多様で豊かな自然に囲まれながら、球磨川、氷川のもたらす豊富で良質な水の恩恵を受け、全国有数の農業生産地、県内有数の工業都市として発展してきました。九州縦貫自動車道などの高規格自動車道、九州新幹線などの鉄道に加え、県内最大の国際貿易港である八代港を有しており、九州の中心に位置する地理的優位性から、陸・海の交通の要衝として、その持てる力の十分な発揮が期待されています。

また、地域医療の拠点となる医療機関、高齢者施設等の福祉施設や高等教育機関のほか、歴史・文化施設や大型商業施設等、ゆとりある生活を継続していくために必要な都市機能を有しています。

このようなことから、本市は、生活圏域を共にする周辺自治体と互いの地域特性を活かした役割分担を図りながら、住民が安心して豊かな暮らしを続けられるよう圏域全体の活性化に向けて、定住自立圏構想における「中心市」となることをここに宣言します。

平成26年9月25日

八代市長 中村 博生